

## 中野区総合教育会議 次第

1 日 時 令和7年（2025年）10月3日（金）午前10時30分から

2 場 所 区役所6階603～605会議室

3 出 席 者 （構成員）

区長

教育委員会教育長、委員

（関係職員）

青山副区長、栗田副区長、企画部長、総務部長、子ども教育部長・教育委員会事務局次長、子ども教育部子ども家庭支援担当部長・教育委員会事務局参事（子ども家庭支援担当）、企画部企画課長、総務部総務課長、子ども教育部・教育委員会事務局子ども・教育政策課長、子ども教育部・教育委員会事務局学校地域連携担当課長、教育委員会事務局指導室長

4 議 題 ①中野区立学校における「子どもの意見を反映させた教育活動」について

②コミュニティ・スクールについて

③中野区教育委員会における「英語教育」に関する取組

総合教育会議

中野区立学校における

「子どもの意見を反映させた教育活動」

について

令和7年(2025年)10月3日(金)

今、中野区の全区立小・中学校は、これまで  
以上に子どもたちの意見や考え、思いを  
形にできる場となるよう改善を図っています。

# 中野区の子どもたちの今

## 中野区学力に関する調査 意識調査（令和6年度4月実施）

○授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	67.0	65.5	63.4	59.6	45.8	52.1
全国	65.0	66.5	65.4	62.3	51.4	51.2

○自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、すすんで取り組んでいる。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	72.7	72.2	72.0	69.4	68.4	76.3
全国	73.4	73.7	75.4	72.9	73.3	74.3

中野区の子どもたちは、授業で学んだことを日常生活に結び付けたり、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に取り組んだりする姿勢【学びに向かう力】にやや課題が見られます。

学校が、子どもたちの意見を生かして特色ある教育活動を実施することで、これまで以上に子どもたちの達成感、成就感、自己肯定感等を実感させることができる。

その結果、子どもたちの 【学びに向かう力】  
を高められるような学校づくりを進めること  
ができると考えました。

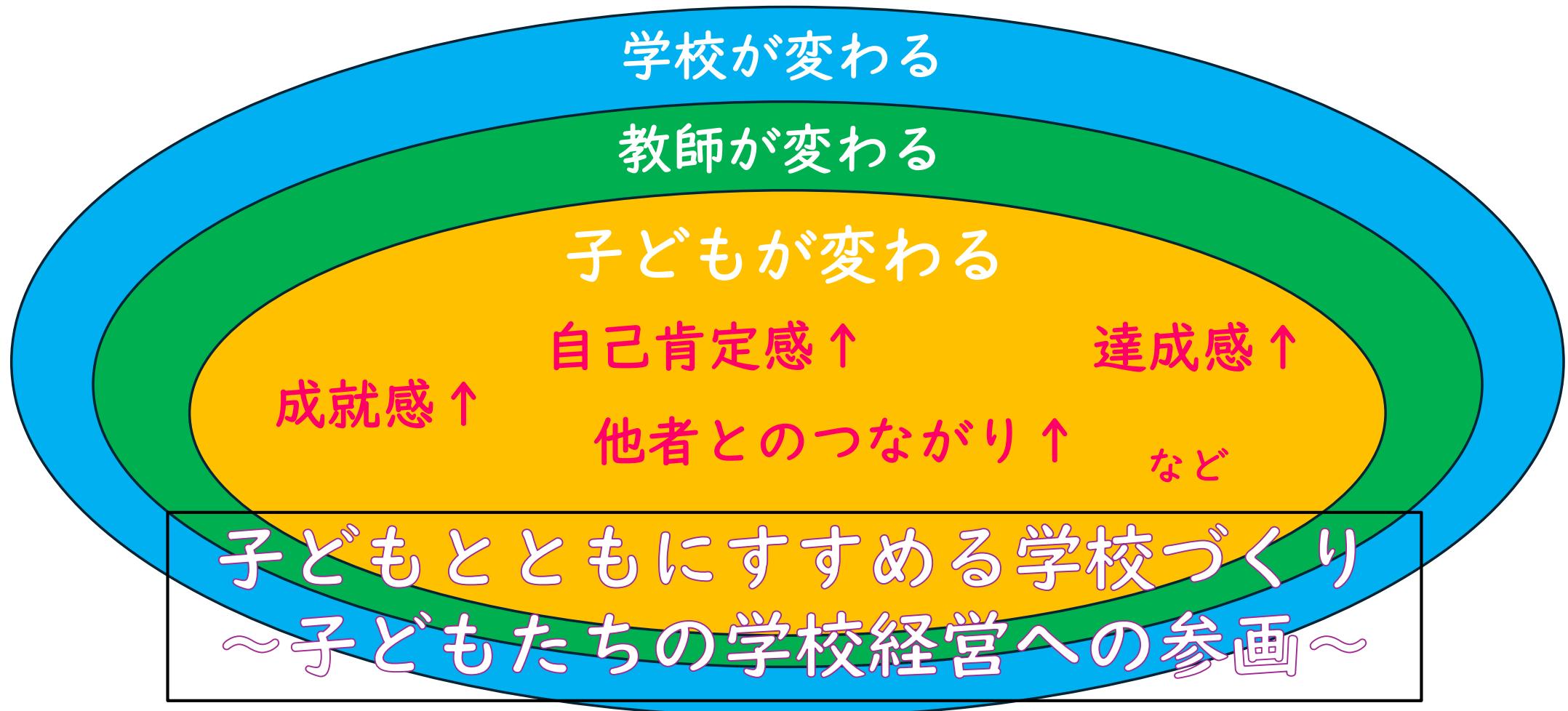
# 中野区教育ビジョン（第4次） 令和5年5月

## 目標Ⅲ 取組の方向性 「豊かな心を育む教育の充実」

令和4年3月に制定した「中野区子どもの権利に関する条例」の趣旨を踏まえ、子どもの権利について、児童・生徒が知る機会を設けるとともに、自分の意思や考え、思いを表明する取組を充実します。

### 子ども主体の学校教育

# 子ども主体の学校づくり



# 子どもの意見を反映させた教育活動

区立小・中学校では、子どもたちが表明した意見や考え、思いを尊重し、安心して表明できる場をより増やすための取り組みを実施しています。

- 小学校 1校あたり 20万円
- 中学校 1校あたり 30万円

子どもたちが企画・提案した行事等を各校で行っています。



「なかの区報 2024年11月20日号」より

# 子どもの意見を反映させた教育活動

▼実施した主な事例（中学校）・国境なき医師団による講演



子どもたちの「やってみたい」「こんな学校にしたい」という気持ちを実現し「主体性」を育みます。

## ▼実施した主な事例（小学校）

### ・クリスマスコンサートを実施（区立中野第一小学校）

「あなたの夢をかなえますプロジェクト」と題し、クリスマスコンサートを実施。歌唱の専門家が、子どもたちのリクエスト曲や子どもたちも参加できる曲などを披露。

### ・子どもたちが作詞し、楽曲を製作（区立中野本郷小学校）

子どもたちが作詞し、中野を拠点として活躍する作曲家に曲の製作を依頼。作詞にあたって、区長の話を聞いてみたいという子どもたちからの意見があり、区長によるキャリア教育も実施。

中野第一小学校のコンサートの様子（左）▶  
酒井区長によるキャリア教育の様子（右）▶



## ▼実施した主な事例（中学校）

### ・人権に関する講演会を企画（区立明和中学校）

明和中学校の生徒会では、人権活動が盛んに行われており、人権問題に詳しい講師を招いて講演会を実施することを企画。

生徒会本部役員を中心に、全生徒を対象に実施した人権課題アンケートの結果をもとに、現在講師の選定を行っている。

### ・アスリートによる講演会を企画（区立第七中学校・緑野中学校・中野東中学校）

生徒会がアスリートの一生懸命な姿や果敢にチャレンジし諦めない姿勢など様々な教訓を学ぶ講演会を実施することを企画。

【招聘した講師】ジョシュ・ホーキンソン選手（バスケットボール日本代表）

杉本 美香選手（柔道 銀メダリスト） 阿部 一二三選手（柔道 金メダリスト）

# 子どもの意見を反映させた学校行事

区立中学校では、体育祭の種目も子どもたちの意見を生かしたオリジナル種目を実施しています。



① 謎解き



② ボール運び



③ 借り物競争



お邪魔玉入れ



8の字飛び



色別対抗リレー

# 子どもの意見を反映させた授業づくり

学校教育向上事業の校内研究では、多くの学校が、子どもたちの主体性を生かした授業改善に取り組んでいます。

## <授業改善の視点例>

- 興味・関心をひき出す工夫
- 児童・生徒による学習課題を設定
- 児童・生徒による学習内容・方法の選択
- 振り返りの工夫など



# コミュニティ・スクールについて

令和7年(2025)10月3日(金)

子ども・教育政策課 学校地域連携担当

# コミュニティ・スクールとは

- ・学校運営協議会を設置している学校
- ・地域の知恵や人材を活かした教育活動が可能



# 国におけるコミュニティ・スクールの変遷

- ・2000年 教育改革国民会議が「コミュニティ・スクール」の設置を提言
- ・2004年 地方教育行政法改正。「学校運営協議会」を法的に位置づけ
- ・2017年 導入の努力義務化



2017年 3,600校



2024年 20,153校 (設置率58.7%)

# 区におけるコミュニティ・スクールの変遷

- ・2022年度より、保幼小中連携を踏まえ、中学校区を単位とした「地域学校運営協議会」を設置
  - ・学校と地域の協働活動を実施するため、協議会を設置している中学校区の各学校に学校と地域団体・人材をコーディネートする「地域コーディネーター」を配置
- 話し合い**（学校運営協議会）と**取組**（協働活動）を一体的に推進



# 地域学校運営協議会の効果と課題

## 効果

- ・小学校と中学校が情報や課題を共有するため、より小学校と中学校の連携を踏まえた継続的な学校経営を行うことができる。
- ・他校の地域連携事例を学ぶ機会となるなど、互いが持っている強みを共有し、自校の運営に活かすことができる。

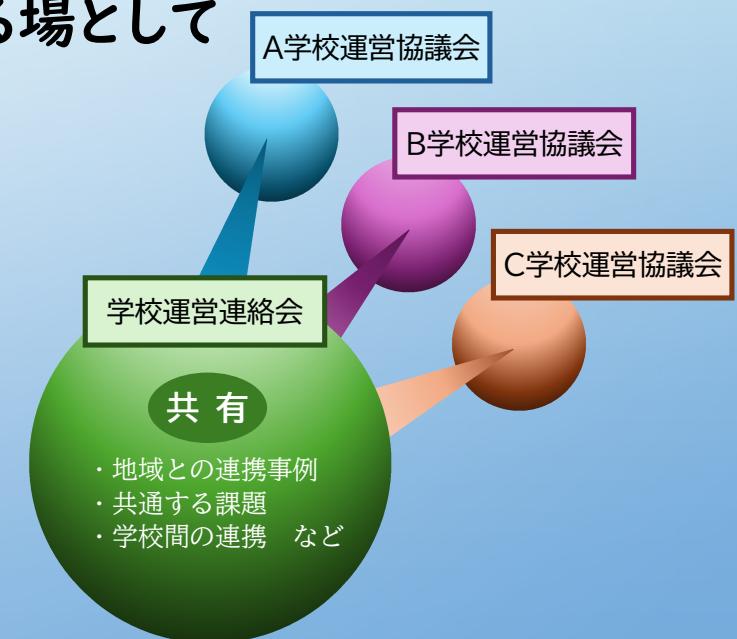
## 課題

- ・中学校区としてのテーマが中心となるため、学校個別の課題に対する取組など具体性のある協議を行う機会が少ない。
- ・学校に関わる課題は学校固有のものが多いため、学校単位の方が協議しやすい。

# 協議会の転換

- ・中学校区単位から各学校、幼稚園ごとに「学校運営協議会」を設置
- ・協議会の最大人数を20名から11名に削減
- ・中学校区ごとに地域の教育課題や認識等を共有する場として  
「学校運営連絡会」を設置

→話合いやすさと認識の共有を推進



# 学校運営協議会で話し合うこと

- ◇**目指す学校像・ビジョンの共有**（教育課程の作成及び学校運営の基礎となる基本的な方針に関すること）
- ◇**課題と改善に向けた協議**（基本方針に基づく学校の教育活動や運営の改善に関すること）
- ◇**具体的な取組に向けた協議**（学校と地域との協働活動の企画及び調整に関すること）
- ◇**教員像に関する協議**（学校運営の基本的な方針に基づく教員の在り方に関するここと）

# 協議会の様子 鶯の杜小学校



# 協議会の様子 江古田小学校



# 協議会の様子 美鳩小学校



## 今後の方向性

- ・学校運営協議会、地域コーディネーターの認知度向上  
→継続的な広報活動
- ・連携・協働する地域団体・人材とのネットワークの拡充  
→安定的な連携・協働のための体制の強化
- ・委員の学校運営に対する意識の醸成  
→研修や学校とつながる機会の創出

総合教育会議

# 中野区教育委員会における 「英語教育」に関する取組

令和7年(2025年) 10月3日(金)

## 中野区の英語教育

### 〈目的〉

- 英語が好きになり、実践的な英語力を身に付けることはグローバル社会を生きるこれからの子供たちにとって必要な力になる。
- 中野区の公立学校の魅力を生かし、誰もが子育てをしたいまちにする。

## 中野区の子どもの実態

政府目標 CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の生徒数人)

中学3年生の人数 (ア)	(ア)のうち外部試験 を受験したことがあ る人数(イ)	(イ)のうちCEFR A1レベル相当以上 を取得している人数 (ウ)	(ア)のうちCEFR A1レベル相当以上 の英語力を有すると 思われる人数(エ)
1203	768	602	154

A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒 **62.8%**

令和6年度 英語教育実施状況調査(文部科学省)

## 【都道府県・指定都市別】中学生の英語力（CEFR A1以上）

- 政府目標であるCEFR A1レベル相当以上の中学生の割合50%を達成した自治体は増加傾向  
(全67自治体中37自治体 (R3 : 20自治体 → R4 : 24自治体 → R5 : 28自治体) )

中野区  
62.8%

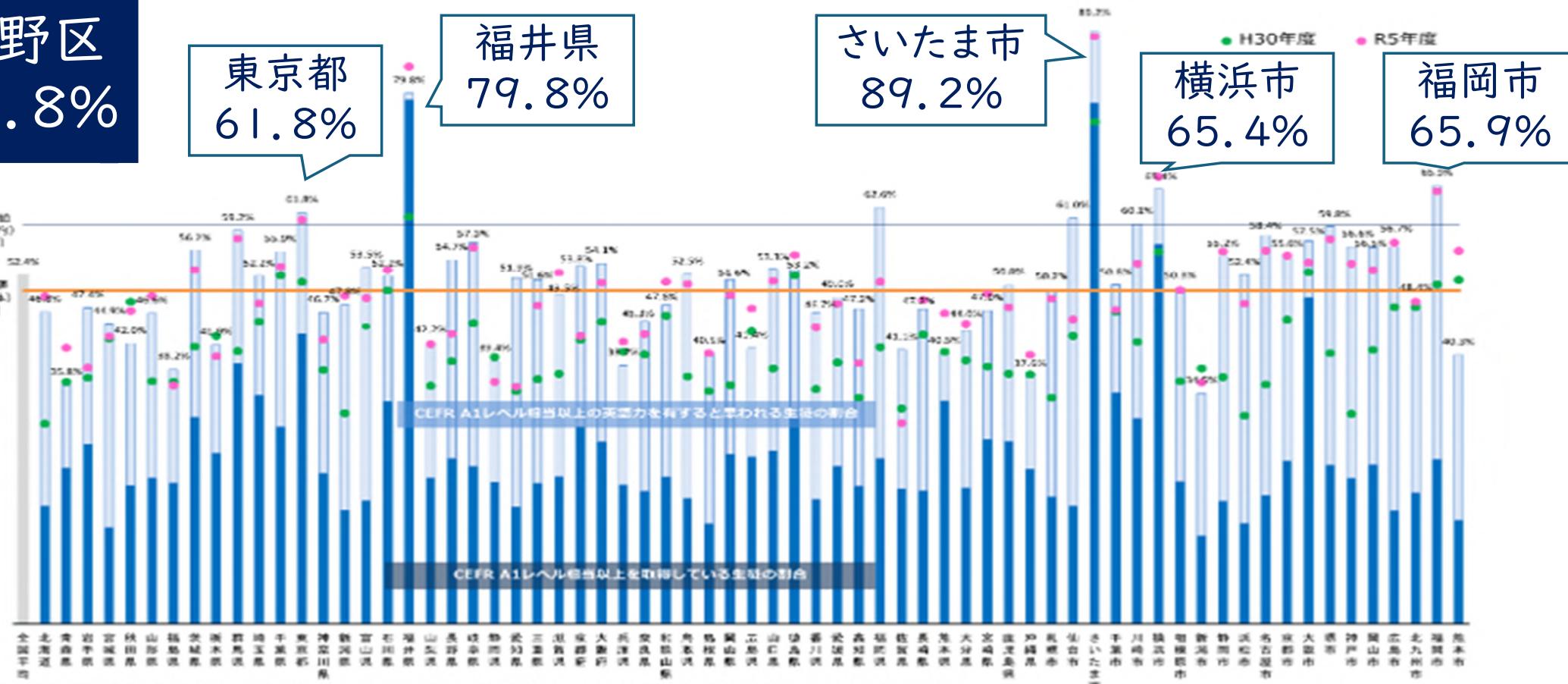
東京都  
61.8%

福井県  
79.8%

さいたま市  
89.2%

横浜市  
65.4%

福岡市  
65.9%



## 中野区学力調査における全国との比較

### 英 語

学年	知識・技能		思考・判断・表現		平均到達スコア	
	中野区	全国	中野区	全国	中野区	全国
中学 2年生	68.1	63.9	52.1	45.7	66.8	62.3
中学 3年生	66.9	64.4	61.6	57.5	62.9	61.1

中野区の取組!

## 英語体験事業

►TOKYO GLOBAL GATEWAY での英語体験プログラム  
(R2~)

内容: 小学校4年生を対象とした半日体験(全校で実施)



## 中野区の取組2

# 英語体験事業

### ▶中野区イングリッシュキャンプ(R5~)

内容:中学校1年生 1泊2日 軽井沢少年自然の家  
ALTによる英語活動に関するプログラム



## 中野区の取組3

### 外国語や様々な文化に触れる機会の創出

▶小学校1・2年での外国語活動の実施(R5~)

内容:年15時間以上の実施

ALTを配置

## 中野区の取組4

外国語や様々な文化に触れる機会の創出

### ▶ALT派遣(R5~)

内容:授業外でもALTを活用できるような体制にした。

## 中野区の取組5

### 専門的教員の育成と 指導力の向上

#### ▶英語教育アドバイザー事業(R2~R6)

内容:(1)英語教育研修【小・中合同】 年1回

(2)英語教育アドバイザーによる研修

【小学校低学年担当教員向け】 年2回

【小学校中・高学年担当教員向け】 年2回

(3)英語教育アドバイザーによる学校訪問

【全小学校】 ※R2~R5

## 中野区の取組6

# 英語検定料の補助

### ▶英語検定受験の支援(R2~)

内容：中学校2年生又は3年生対象

1回分の検定料を補助

※CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合  
(中学校3年生)

R4 62.7% R5 67.3% R6 62.8%

英語教育実施状況調査(文部科学省)

## 中野区の取組7

## その他の取組

- ▶ 英語のデジタル教科書の全校導入
- ▶ 中学生英語スピーチ発表会 11月 なかのZERO
- ▶ 早稲田大学大学院生との連携
- ▶ ウェリントンとの留学交流授業 (R7:拡大)

# 今後の中野区の英語教育の充実に向けて

目標 CEFR A1 レベルの向上

62.8% → 80%

- 対策
- ▶ 英語授業の質的・量的な充実
  - ▶ ALTと連携した指導の充実
  - ▶ ICTを活用した指導方法の工夫
  - ▶ 英語力UPに向けた気運の醸成
  - ▶ 教員の指導力向上